

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

せきとうやまこふん

## 石塔山古墳

新高総早倉矢  
見梁社島敷掛  
市市市町市町

井原市

浅里笠  
口庄岡  
市町市



場所

いばらしおおえちようき だあざき だ  
・井原市大江町木田字木田



時代

こふん じ だいちゆうき  
・古墳時代中期



指定年月日

しやうわ  
・昭和40(1965)年  
8月25日



所有

いばらし  
・井原市



し せ き

### この史跡について

おお えちよう せき とうやま さんちよう ひようこう ちよつけい やく えん ふん ふんきゆうちゆうおう ぶ てんじよういし まい  
大江町の石塔山山頂(標高105m)にある直径約15mの円墳で、墳丘中央部に、天井石が6枚あり、その下に、長さ3.5m、幅0.85mの竪穴式石室をもっています。石室は、塊状の割石が使用されており、側壁は上にいくにしたがってせり出すように築かれています。

しやうわ くらしき こう こ かん ちようさ せきしつ あかいろ がんりよう ぬ だん せい じん こつ  
昭和34(1959)年の倉敷考古館の調査で、この石室より、赤色顔料が塗られた男性の人骨、ガラス玉、鉄剣が出土し、古墳時代中期(今から約1500年前)に造られたことが確認されました。

せきとうやま の おねじよう ぜんほうこう えんふん こふん せきとうやま こふん ふく  
この石塔山から北に伸びる尾根上には、前方後円墳などの古墳もあります。石塔山古墳を含めたこれらの古墳群は、古墳時代の前半に井原市南西部を治めた豪族やその関係者の墓であると考えられます。